ビムパットを服用される方へ

監修
兼子 直 先生
医療法人清照会湊病院 名誉院長
北東北てんかんセンター長
弘前大学 名誉教授

目次

てんかんとは? 02
お薬によるてんかんの治療 04
ビムパットについて 06
ビムパットの服用方法 08
わたしの服用スケジュール 10
服用中にご注意いただきたいこと 12
このような症状がみられたら① 14
このような症状がみられたら② 16
ビムパット服用に関するQ&A 17

てんかんとは？

てんかんはごくありふれた病気で約100人に1人の割合で発症するといわれています。

- てんかんは、発作を繰り返す脳の病気です。
- 突然、脳神経細胞が過剰な興奮状態になることで発作が起きます。発作の症状は人によってさまざまです。
- てんかんは、年齢、性別、人種に関係なく発症します。
- ごくありふれた病気で約100人に1人の割合で発症し、日本では約100万人がてんかんのある人といわれています。
- てんかんが起こる原因はさまざまで、脳になんらかの障害がみられる場合もあれば、明らかな異常が見つからない場合もあります。また、発作を起こしやすい素因を持つ人もいます。

- てんかんは適切な治療によって、約70%の人がお薬で発作を抑えることができます。発作を完全に抑えられない場合でも、回数を減らしたり、症状を軽くすることができます。
- てんかん発作を上手にコントロールできれば、通常の社会生活を送ることが可能です。
- 主治医の先生と一緒に、てんかん発作を上手にコントロールしていきましょう。

てんかんの治療目標

- 発作を抑える
- 副作用をできる限り少なくする
- 個々の患者さんが望む生活を送れるようにする

お薬によるてんかんの治療

てんかん発作をうまくコントロールすることが大切です。

- てんかんの治療では、主に「抗てんかん薬」と呼ばれるてんかん発作を抑えるお薬を用います。抗てんかん薬には、脳神経細胞の過剰な興奮を抑える働きがあります。
- 抗てんかん薬にはいくつか種類があり、次のような点に基づいて、それぞれの方に合ったお薬を主治医が選択します。

主治医が抗てんかん薬を選択するときの主なポイント

- てんかん発作のタイプ
- 年齢、性別
- お薬に対する反応や副作用の有無
- ほかに服用しているお薬※

など

※てんかん以外の病気があり、ほかにお薬を服用している場合、お薬同士が影響し合わないように考えて選ばれます。

- 抗てんかん薬の種類によって起こりやすい副作用が異なります。
- お薬の副作用をできる限り減らし、てんかん発作をうまくコントロールすることが大切です。
- てんかんのお薬による治療では、通常まず1種類の抗てんかん薬で治療を開始します。もし、1種類の抗てんかん薬でてんかん発作を十分にコントロールできなかった場合は、複数の抗てんかん薬を組み合わせて治療を行うこともあります。

ビムパットについて

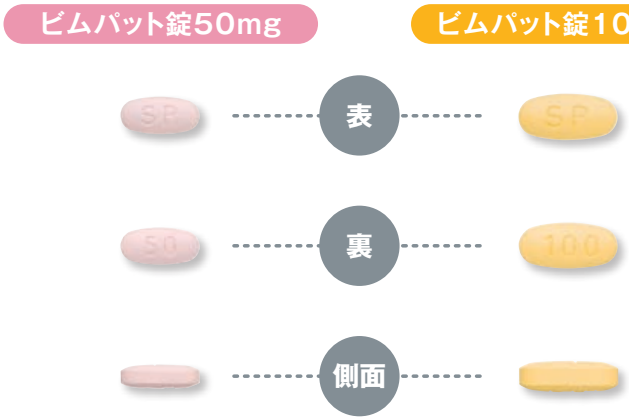
主治医の指示に従って、決められた量を服用しましょう。

- これまでの抗てんかん薬とは異なる作用により、てんかん発作を抑えるお薬です。

- てんかんの部分発作（二次性全般化発作を含む）のある方や、他の抗てんかん薬で効果不十分な強直間代発作がある方に処方されます。

ビムパットの写真

ビムパットには50mgと100mgの2種類があります。
主治医の指示に従って、決められた量を間違えないように服用しましょう。



ビムパットの服用方法

ご自身の判断でお薬の量を増やしたり、減らしたりしないでください。

- ビムパットの服用は、お薬に慣れるため少しずつお薬の量を調整していく期間（調整期）と、症状がコントロールできたところで、そのお薬の量をそのまま維持して服用する期間（維持期）に分けられます。
- お薬の量やお薬を調整する期間は服用される方の状態によって主治医が決定しますので、指示に従って決められた量を服用してください。
- ご自身の判断でお薬の量を増やしたり、減らしたりしないでください。

ビムパットの服用方法イメージ

お薬の量を調整する期間とそのまま維持する期間があります。一定期間ごとに量を増やすなど調整し、適切な量にします。

調整期
お薬の量を
調整する期間

維持期
お薬の量を
そのまま維持する期間

服用し始めからお薬の量を増やす期間は、めまい、眠気などの副作用がより多くみられることがあります。服用を続けることで次第に慣れることもありますが、体調に変化を感じた場合は主治医や薬剤師に相談しましょう。
発作が長期間抑制され、脳波も正常化した場合には、お薬の量を少なくできることもあります。

**次のページにあるスケジュール表を活用し、
服用するお薬の量を確認しましょう。**

わたしの服用スケジュール

スケジュール表に記入してみましょう。

- 服用を始めるにあたって、主治医に指示されたお薬の量や服用する時間帯、服用する期間を右のスケジュール表に記入してみましょう。お薬の服用し忘れ防止や、お薬の量の確認にお役立てください。

＜ スケジュール表の記入例 ＞

9 月 25 日～10 月 1 日まで服用するビムパットの量

1回目（朝食後）			2回目（夕食後）		
ビムパット錠50mg	1	錠	ビムパット錠50mg	1	錠
ビムパット錠100mg		錠	ビムパット錠100mg		錠

あなたの服用スケジュールを書き入れてみましょう

____月____日～____月____日まで服用するビムパットの量

1回目（　　）		2回目（　　）	
ビムパット錠50mg	錠	ビムパット錠50mg	錠
ビムパット錠100mg	錠	ビムパット錠100mg	錠

____月____日～____月____日まで服用するビムパットの量

1回目（　　）		2回目（　　）	
ビムパット錠50mg	錠	ビムパット錠50mg	錠
ビムパット錠100mg	錠	ビムパット錠100mg	錠

____月____日～____月____日まで服用するビムパットの量

1回目（　　）		2回目（　　）	
ビムパット錠50mg	錠	ビムパット錠50mg	錠
ビムパット錠100mg	錠	ビムパット錠100mg	錠

____月____日～____月____日まで服用するビムパットの量

1回目（　　）		2回目（　　）	
ビムパット錠50mg	錠	ビムパット錠50mg	錠
ビムパット錠100mg	錠	ビムパット錠100mg	錠

____月____日～____月____日まで服用するビムパットの量

1回目（　　）		2回目（　　）	
ビムパット錠50mg	錠	ビムパット錠50mg	錠
ビムパット錠100mg	錠	ビムパット錠100mg	錠

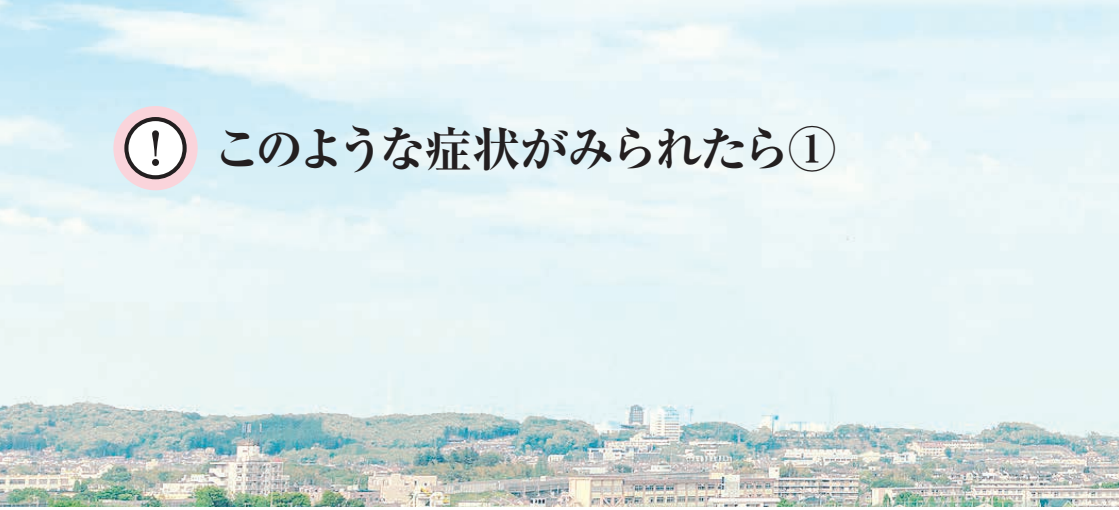
服用中に ご注意いただきたいこと

自分なりに工夫して お薬の服用し忘れを防ぎましょう。

- 症状がおさまったとしても、ご自身の判断でお薬の服用をやめないでください。症状が悪化してしまう可能性があります。
- ビムパット服用中にふわふわしためまい、目がかすむ、眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあります。そのため、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- お薬を服用し忘れないように、服用スケジュールを書き込んだり、決まった時間にお薬を服用するようにしたり、自分なりに工夫してお薬の服用し忘れを防ぎましょう。

お薬を服用し忘れないようにするヒント

- 時計や携帯電話（スマートフォン）のアラームをセットする。
- 冷蔵庫など家の中の目立つ場所にメモを貼る。
- ピルボックスやお薬カレンダーなどに1日分もしくは1週間分のお薬を入れておく。
- カレンダーや手帳にしるしを付けて服用状況を記録する。



このような症状がみられたら①

気になる副作用がみられたら、主治医や薬剤師に相談しましょう。

- お薬には病気を治したり、症状を軽くしたりする働きがありますが、その一方で好ましくない作用（副作用）があらわれることがあります。
- ビムパット服用中に、めまい、眠気、頭痛、吐き気・嘔吐、といった副作用がみられることがあります。
- 特にめまい、眠気は服用し始めやお薬を増やした後にみられやすいですが、服用を続けることで次第に慣れていくことがあります。
- 副作用があらわれてもご自身の判断でビムパットの服用をやめないでください。また、気になる症状がみられた場合は、主治医や薬剤師に相談してください。

ビムパット服用中に起こりやすい副作用

めまい

眠気

頭痛

吐き気・嘔吐

ビムパット服用中に、体調の変化を感じた場合は、主治医や薬剤師に相談するようにしてください。

このような症状がみられたら②

- 特に気をつけていただきたいまれな副作用として、次のような症状があらわれることがあります。
- このような副作用がみられた場合は、すぐに主治医や薬剤師に相談してください。

特に気をつけていただきたい副作用

- ●不整脈などの脈拍や心臓の異常を感じる。
- ●自分を傷つけたい、この世から消えてしまいたいという気持ちになる。
- ●目の充血、くちびるのただれ、皮ふの広い範囲が赤くなる。
- ●リンパ節の腫れ。

不整脈などの
脈拍や心臓の異常

この世から消えて
しまいたい気持ちになる

ビムパット服用中に、体調の変化を感じた場合は、主治医や薬剤師に相談するようにしてください。

ビムパット服用に関するQ&A

Q1 お薬を服用し忘れてしまったのですが、どうしたらよいでしょうか？

A 服用し忘れたことに気づいたときに、1回分をできるだけ早く服用してください。もし、次の服用時間が近い場合は1回とばして、次回に1回分のお薬を服用してください。決して2回分を一度に服用しないでください。

Q2 主治医から指示された量よりたくさんお薬を服用してしまったのですが、どうしたらよいでしょうか？

A ビムパットをたくさん服用してしまった場合、お薬の作用が強く出すぎてしまい、めまい、吐き気、てんかん発作、不整脈などの症状が出ることがあります。このような症状があらわれたら、すぐに医療機関を受診してください。また、特に変わったことがなくても、心配な場合はいつでも主治医や薬剤師に相談してください。

Q3 処方されたお薬を紛失して、服用を一時的に中断してしまいました

A 処方されたビムパットを紛失し、服用を中断しなければならなくなってしまった場合、すぐに主治医に連絡し、お薬をもらってください。

Q4 薬局などで売っているお薬やほかの病気のお薬と一緒にビムパットを含む抗てんかん薬を服用しても大丈夫でしょうか?

A 薬局などで売っているお薬やほかの病気のお薬と一緒にビムパットを含む抗てんかん薬を服用する場合は、あらかじめ主治医に相談してください。また、何か別の病気でほかの病院にかかる場合は、ビムパットを服用していることを担当の医師に伝えるか、お薬手帳または現在服用しているお薬を持っていって医師や薬剤師に見せてください。

Q5 妊娠している場合、ビムパットを服用しても大丈夫でしょうか?

A 妊娠中の人や、妊娠する可能性のある人は、必ず主治医に伝えてください。ビムパットの妊娠・出産に関する安全性は確立していません。主治医がてんかん発作の状態や健康状態などを総合的に判断して、お薬を服用しても大丈夫かを決定します。

医療機関名：

連絡先：

主治医名：

薬剤師名：

第一三共株式会社

ユーシービージャパン株式会社

P201911-009-00
JP-P-VI-EPOS-2300272